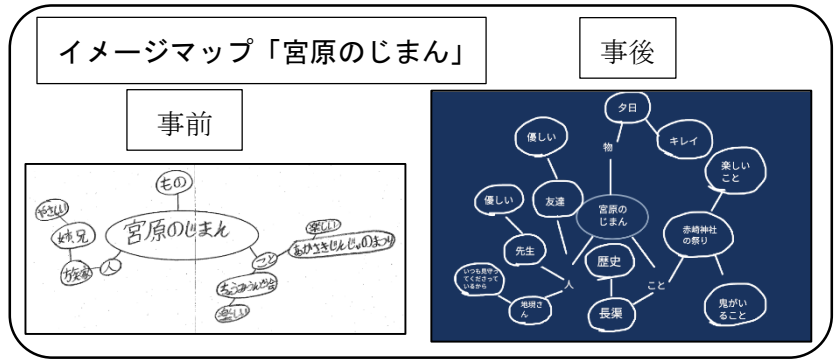


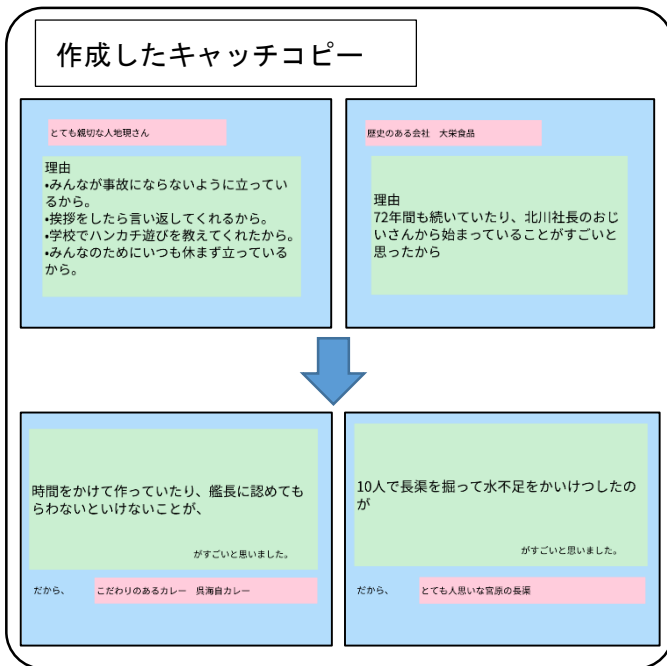
成果と課題

○成果

- ・宮原が好きな理由を書きにくかった児童が、イメージマップや振り返りの中で、理由を明確にして表現することができるようになった。(図1)



(図1)



(図2)

- ・調べたことを整理・分析し、キャッチコピーを考える活動を4回行った。その際、理由のまとめ方を見直し、改善していくことで、児童が自慢として伝えたい言葉をより適切に選ぶことができるようになった。その結果、筋道を立てて考え、理由をつけて表現できる児童の割合が増えた。(図2)

- ・児童アンケート「授業では、自分の考えを、わけをつけて表現していますか。(書いていますか。)」
肯定的評価38%⇒68%
- ・児童アンケート「宮原のことが好き」
肯定的回答95%⇒95%
- ・児童アンケート「授業で学んだことを、自分の生活や学習にいかしていますか。」
肯定的回答25%⇒65%

「宮原中学校区生活アンケートの結果より」

- ・「知りたい」「もっと調べてみたい」など、身の回りの人・もの・ことに関わりたいという児童の発言が増えてきた。(図3)

○課題

- ・宮原の自慢を見つけるため、たくさんのゲストティーチャーを招いた。その結果、自慢の数は増えたが、深めることが難しくなった。深めたい事柄を焦点化していくことが今後の課題である。
- ・学習内容の中に3年生にとって難しいものがあった。カリキュラムマップの見直しも行っていきたい。
- ・宮原の歴史についてのゲストティーチャーを引き受けてくださる方が限られており、またご高齢のため、今後も継続して学習していくための体制づくりが必要である。

児童の振り返りから

○学習のまとめ

わたしは、宮原のことが大好きです。王里や夕日がきれいなところ。あと先生や先生の人がやさしいからです。ほいえんのとき兄ちゃんがかざりきれいなよといっておくです。そのゆえに、もとでも使ったのしがたで、おしらがとちうきよが、かからあったことに気づきました。宮原の人には、うきよをまわすです。いなと思ひました。宮原のことは朝と夕日か、かしてききれいたくもかどンクできれいでした。

(うら)

かわいいカレーもとてもおいしいし、大いよくみんなのめんもとてもおいしいです。ほいは「んじまん」なのほちいさの人のすちぎの、いっつもあたしたいをみや、てくれてとてもやさしいと思ひました。ほいは「んじまん」はたけこつや見守りをしてくれます。こんないい戸村にてあたしたちはしあおせたいと思ひます。

(図3)